

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	岩見沢市家庭教育支援チーム (呼称：家庭教育なんでも相談「さあ来る」)
活動開始年度	平成 24 年度
活動拠点	岩見沢市生涯学習センター親子学習室
活動範囲	市内及び近隣地域の保護者
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u> 6 </u> 人 家庭生活カウンセラー 2 人、保育士 1 人、教員免許所有者 1 人 チャイルドカウンセラー 1 人、調理師 1 人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他 () 【活動内容】 ・「学習会及び相談会の開催」 子育て中の親子が集い、子どもを遊ばせながら自由に語り合い情報交換をすることで、母親の育児のストレスの軽減をはかるとともに、母親が子育てのヒントを得られるようアドバイスなどを行っている。 大型紙芝居の読み聞かせや風船遊び、工作体験などを行いながら、参加した母親の自由な話し合いや子どもたちの見守りを行っている。 ・「定期的な開催」 毎月 1 回第 3 水曜日 10 時～15 時「家庭教育なんでも相談」 ・「岩見沢市主催事業の運営補助を実施」 岩見沢市教育委員会主催の「0 歳児、2・3 歳児教育学級」などでは、母親が安心して受講できるように、母親の目が届く範囲で子どもを自由に遊ばせている。家庭教育支援チーム構成員は、子どもたちが安全に遊びができるように見守り支援を行っている。
活動の成果	【実施したアンケートから】 ・ 子どもの体調や生活のリズムに合わせて、都合のよい時間に参加できるのでありがたい。 ・ 昼食を食べながら参加者と会話ができ、子どもに昼寝をさせる部屋もあるのもたいへんよい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由で「まったり」できるのがよい。 ・ 子どもの遊び場と学習室、託児室がガラスで仕切られているので、子どもの様子を観察でき、また子どもも母親の様子が見られて安心しているようだ。 ・ あまり混んでいないので安心して参加できる。
活動において苦勞した点や課題	<p>【課題検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日中に開催するので、働く保護者の参加が見込めない。夜間開催を検討したい。 ・ 誰にも相談できずに1人で子育てをしている保護者への周知方法について検討したい。 ・ 家庭教育支援チームの構成員が高齢化しているので、新たな構成員を増やす方法を検討したい。 <p>【苦勞した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育支援チームの行事が行政の子育て支援事業と重ならないように、開催日や時間を調整すること。
今後の活動目標	<p>【今後の活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの健やかな成長・発達のためには、母親や保護者の心身の安定が欠かせないことから、母親育児を支えるために、“日だまり”のような空間の提供（母親支援）を継続して進めていく。 ・ 岩見沢市教育委員会と連携を図りながら、継続した家庭教育支援事業を実施していく。
問合せ先	<p>(部署・氏名等)</p> <p>岩見沢市教育委員会生涯学習・文化・スポーツ振興課学習活動支援係 (住所) 岩見沢市4条西1丁目3番地4 岩見沢市生涯学習センター内 (TEL) 0126-23-9236 (E-mail) shougai@city.iwamizawa.lg.jp</p>



『親子で体感！うたのコンサート！』

